

QA-CAD / QA-CAD LT ネットワークライセンスセットアップ手順書 第2版

2022年6月改訂

グスリーCAD/GIS ソフトウェア株式会社 (Guthrie CAD/GIS Software Pty Ltd.)

ネットワークライセンス概要:

QA-CAD / QA-CAD LT 2022 ネットワークライセンスでは、購入したライセンスで指定されている最大同時利用ユーザー数で、Windows OS のファイル共有機能を使用した、物理的に1か所のローカルエリアネットワーク内の任意の数のコンピュータにおいてソフトウェアをインストール、使用できます。

注意点:

1. QA-CAD ネットワークライセンスタイプ ソフトウェアは、QA-CAD を使用する全てのコンピュータに個別にインストールしてください (Cドライブの Program Files(x86)フォルダー等)。QA-CAD ソフトウェア自体は、ネットワーク共有できません。ライセンスファイルのみを共有ライセンスフォルダーで共有します。
2. QA-CAD ソフトウェアネットワークライセンスは、社内ネットワーク上で Windows OS のファイルとプリンターの共有機能を使用する必要があります。仮想マシン、VPN 及び外部から社内ネットワークへのアクセスして利用する場合等は弊社サポート対象外となります。
3. 共有ライセンスフォルダーは、QA-CAD ライセンス情報が保存される場所です。すべてのユーザー(Everyone)がフルコントロールでアクセスできる「共有ライセンス」フォルダーを作成、もしくは選択します。
4. QA-CAD ソフトウェアネットワークライセンスのアクティブ化及びご利用には、お使いのコンピュータからインターネット上にある弊社ライセンスサーバーへの接続が常時必要となります。
5. ソフトウェアのインストール前に、御社の IT 担当者様とファイル共有機能の有効化と共有フォルダー作成方法の詳細について、必ず確認していただきますようお願いいたします。下記で説明している内容は、あくまで一般的な例であり、御社のコンピュータ、ネットワーク環境では異なる場合があります。お使いの Windows コンピュータでのファイル共有機能の有効化と共有フォルダー作成方法については、弊社サポート対象外となります。

セットアップ手順

(1) ファイル共有機能の開始と共有ライセンスフォルダー作成について



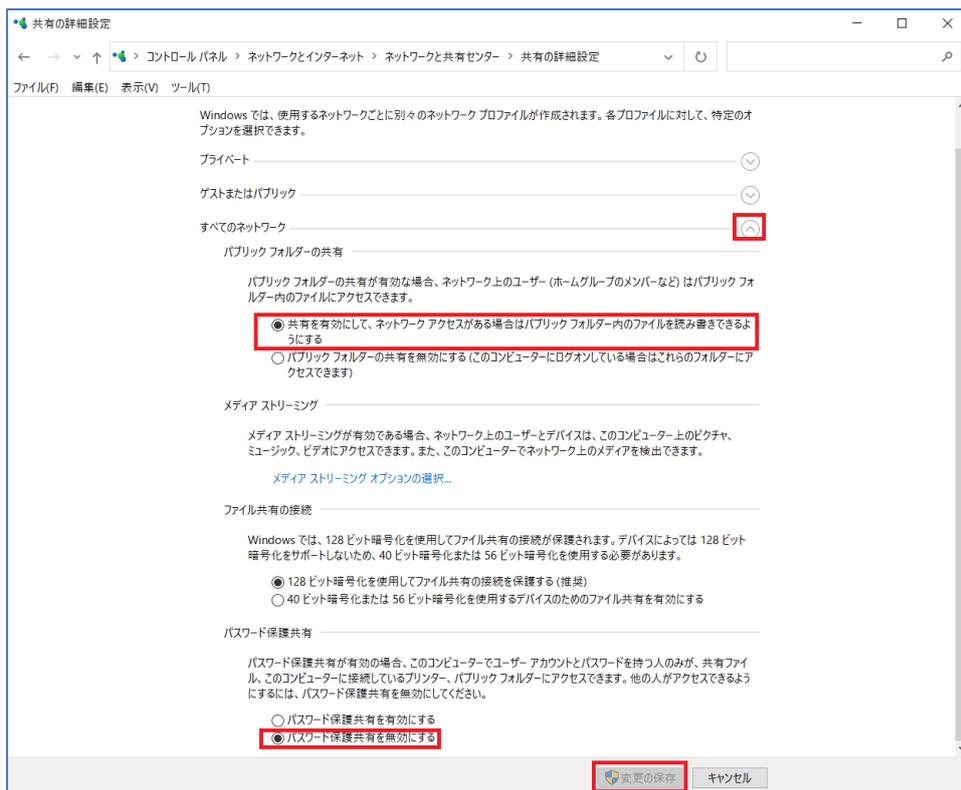
まず共有ライセンスフォルダーを作成するコンピュータにログオンします。Windows の設定メニューから[ネットワークとインターネット]を選択すると、上記のような[ネットワークの状態]が表示されます。[ネットワークの共有センター]をクリックします。



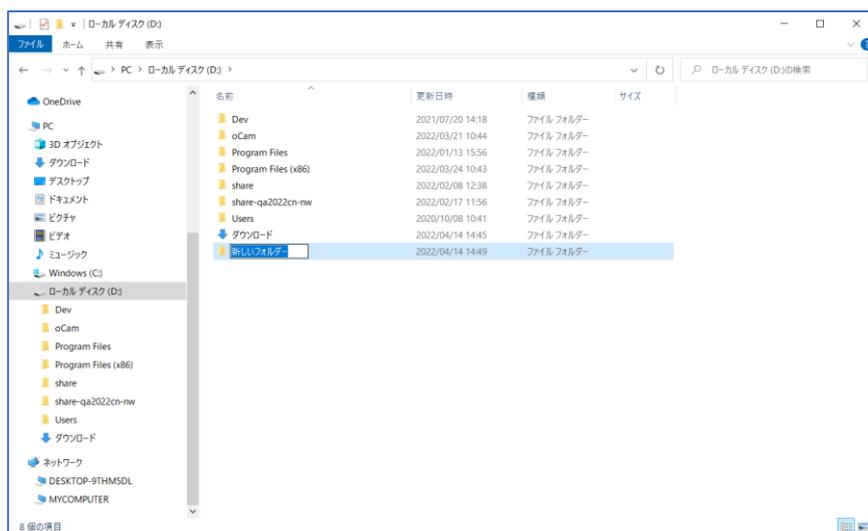
[基本ネットワーク情報の表示と接続のセットアップ]が表示されます。[共有の詳細設定の変更]をクリックします。



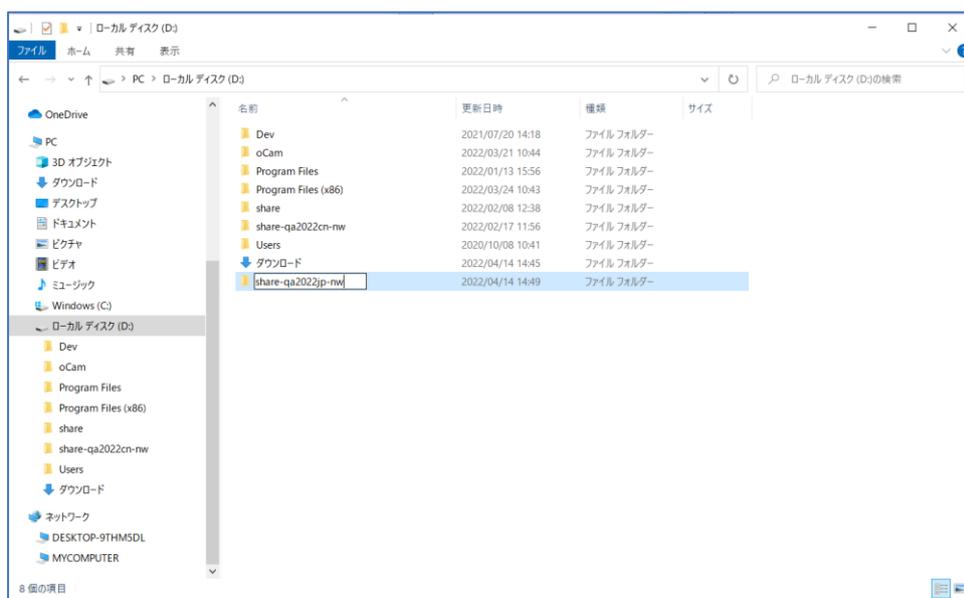
[別のネットワークプロファイル用に共有オプションを変更します]という画面が表示されます。[プライベート]の○(丸を赤い四角で囲んだ部分)をクリックすると、詳細が拡大表示されます。[ネットワーク探索を有効にする]と[ファイルとプリンターの共有を有効にする]を選択します。続いて、画面の下の方に移動します。



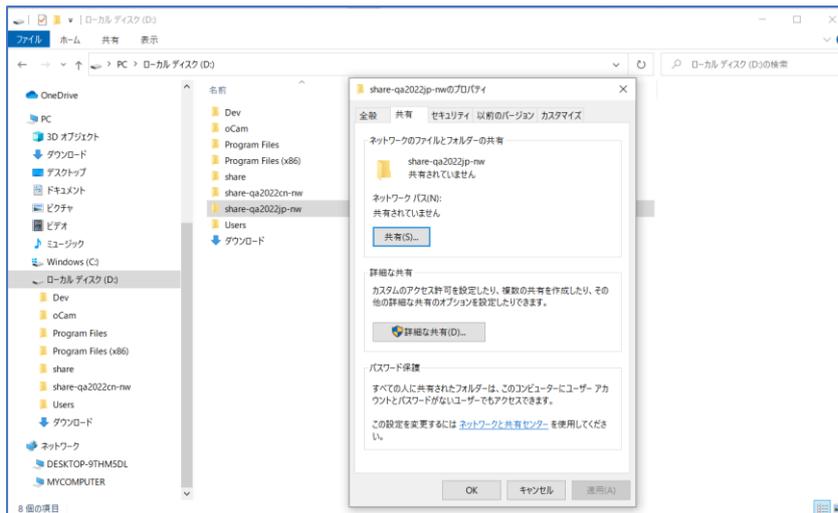
[全てのネットワーク]の○(丸を赤い四角で囲んだ部分)をクリックすると、詳細が拡大表示されます。[共有を有効にして、ネットワークアクセスがある場合はパブリックフォルダー内のファイルを読み書きできるようにする]と[パスワード保護共有を無効にする]を選択します。そして[変更の保存]をクリックします。



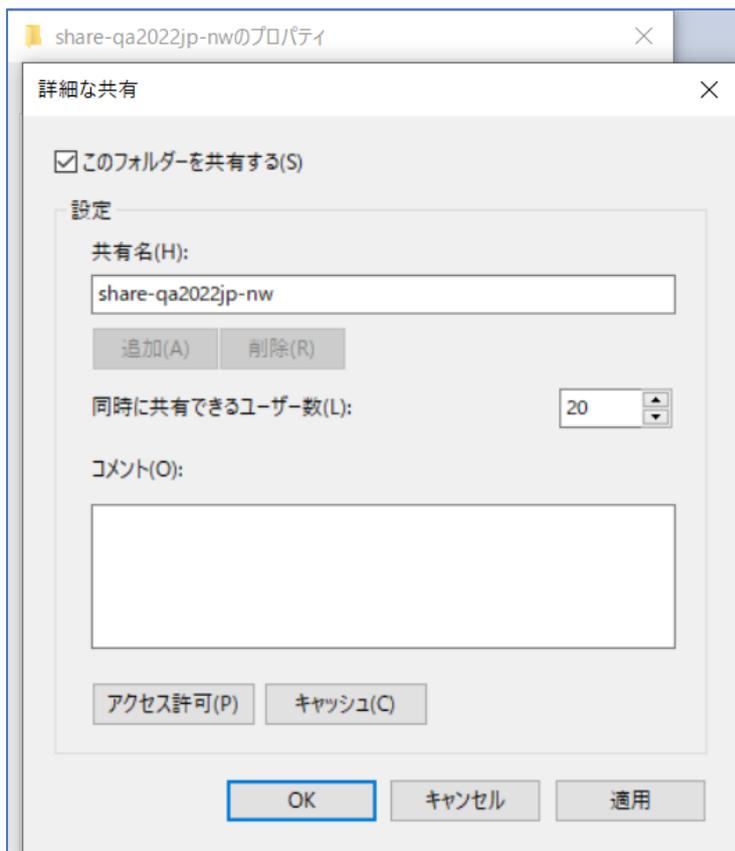
続いてライセンスを共有するフォルダーの作成を行います。上記の画像の例では、Dドライブに新しいフォルダーを作成した状態です。



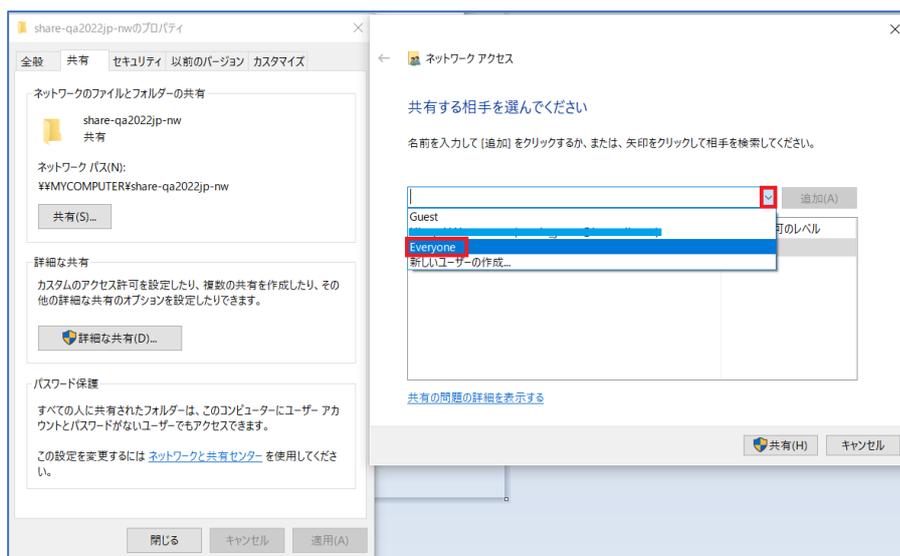
フォルダー名を適切なものに変更します。上記の画像例では、share-qa2022jp-nw と変更しました。



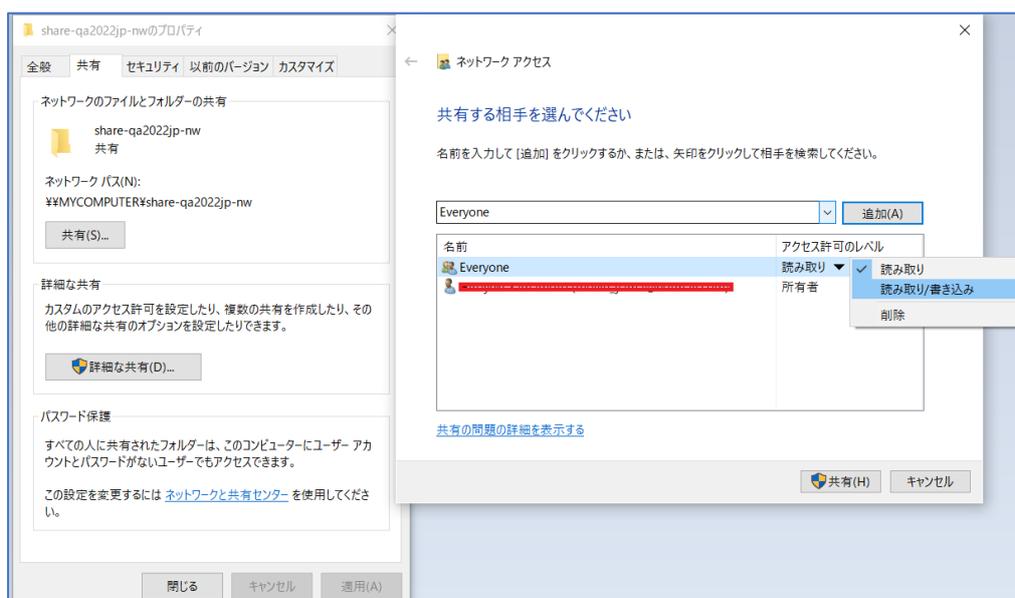
新しく作成したフォルダーの上にマウスポインターを移動して右クリックして、プロパティの表示を選択します。上記の画像例のようにプロパティが表示されます。[詳細な共有]をクリックします。



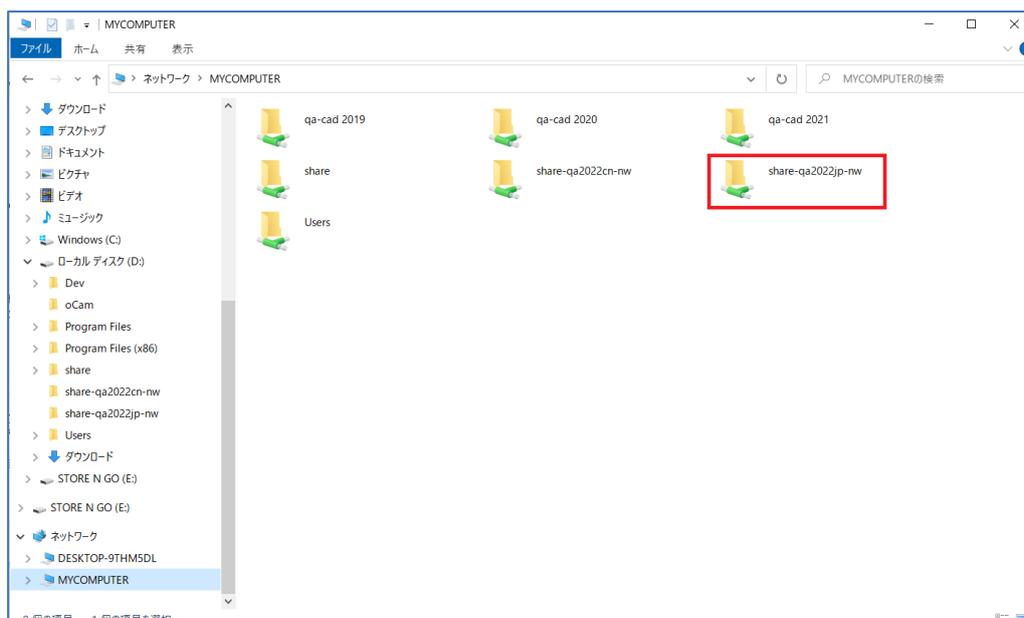
[詳細な共有]というウィンドウが表示されます。[このフォルダーを共有する]にチェックを入れて、[OK]ボタンと[適用]ボタンを押します。



ネットワークパス(N)の下に表示されている[共有(S)]ボタンをクリックします。共有する相手を選んでくださいと表示されます。ドロップダウンメニューから Everyone を選択します。



そして Everyone のアクセス許可のレベルを[読み取り/書き込み]に変更、選択して、[共有(H)]ボタンを押します。



共有ライセンスフォルダーが正しく作成されたか確認します。Windows OS に標準でインストールされているファイルエクスプローラーというプログラムを起動します。

ネットワークの箇所、先の操作で作成した共有ライセンスフォルダーが表示されているか確認します。上記の画像例では、ネットワークの中にある MYCOMPUTER というコンピュータに share-qa2022jp-nw という共有フォルダーが表示されているのが確認できます。**また共有フォルダーのアイコンは、黄色のフォルダーの下に緑色のパイプが表示されています。必ずこの共有フォルダーのアイコンが表示されていることを確認してください。もし表示されていなければ、御社の IT 担当者の方と設定方法を確認して、共有機能と共有フォルダー作成を再度行ってください。**

(2) 1 台目のコンピュータでのソフトウェアのセットアップ

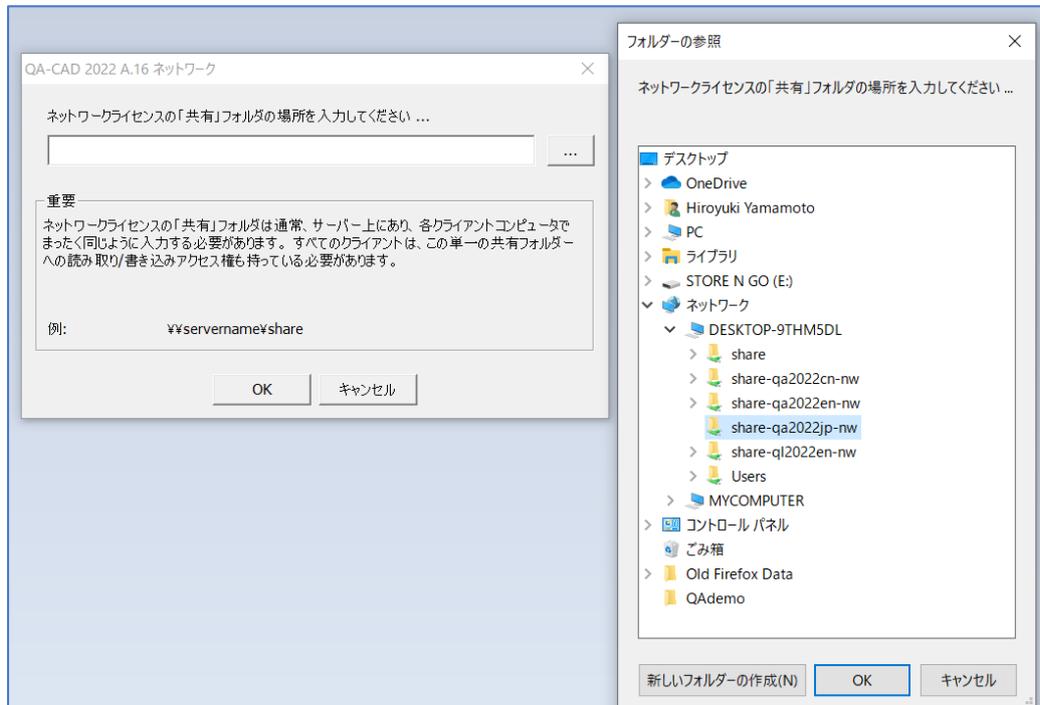
共有ライセンスフォルダーを作成した 1 台目のコンピュータ上で、ネットワークライセンス用セットアップファイルを実行して、ソフトウェアを C ドライブの Program Files(x86) フォルダ等にインストールします。体験版、標準ライセンスとはセットアップファイルが異なります。ご注意ください。

ソフトウェア名	ネットワークライセンス用セットアップファイル
QA-CAD ネットワークライセンス	qasetup2022jp_nw.exe
QA-CAD LT ネットワークライセンス	qlsetup2022jp_nw.exe

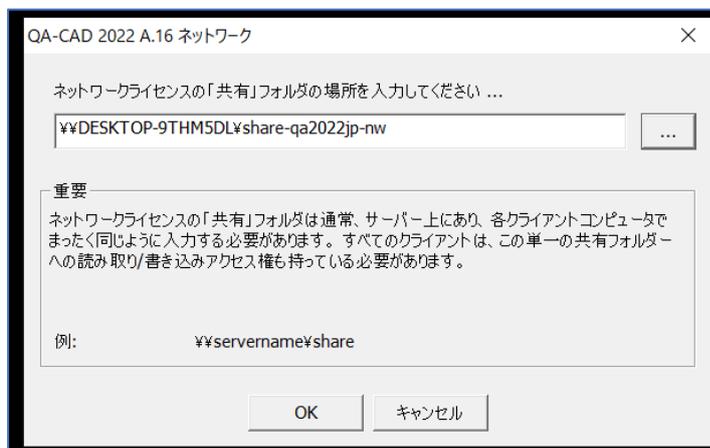
購入時、弊社から送付した E メールにセットアップファイルのダウンロードリンクが付いております。

(3) 共有ライセンスフォルダーの選択

インストールされている QA-CAD ソフトウェアを起動するには、デスクトップアイコンをクリックするか、Windows の[スタート]メニューでソフトウェアを見つけます。

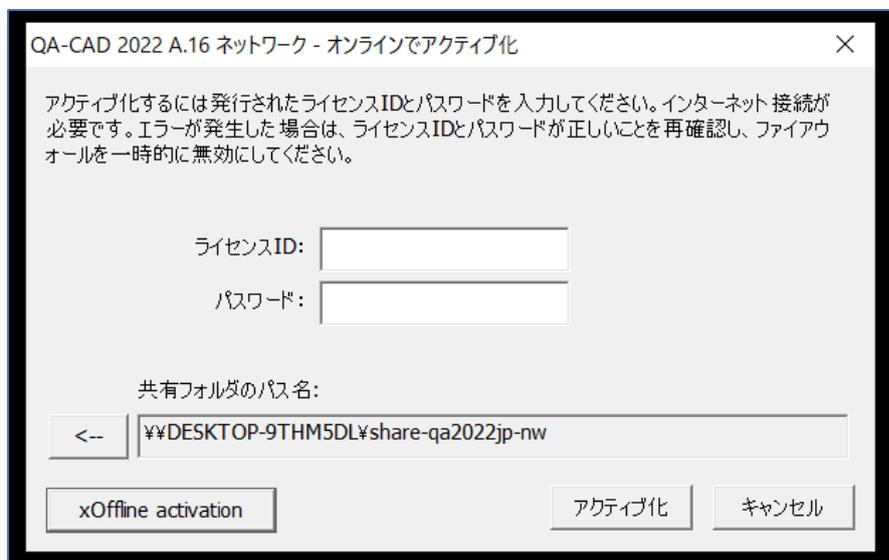


すると、上記の画像のようなウィンドウが表示されます。共有ライセンスフォルダーの場所(共有ライセンスフォルダーパス)を入力するよう求められます。ネットワークライセンスの「共有」フォルダーの場所を入力してください…の下にある入力欄に共有ライセンスフォルダーパスを直接入力するか、または入力欄の右側にある[…]ボタンを押すと、[フォルダーの参照]というウィンドウが表示され、ネットワーク上にある共有ライセンスフォルダーを直接選択することができるようになります。上記の画像例では、ネットワーク上にある DESKTP-9THM5DL というコンピュータ内の共有ライセンスフォルダーshare-qa2022jp-nw を選択しています。選択すると、下記の画像のように、ライセンス共有フォルダーパスが表示されます。[OK]ボタンを押します。



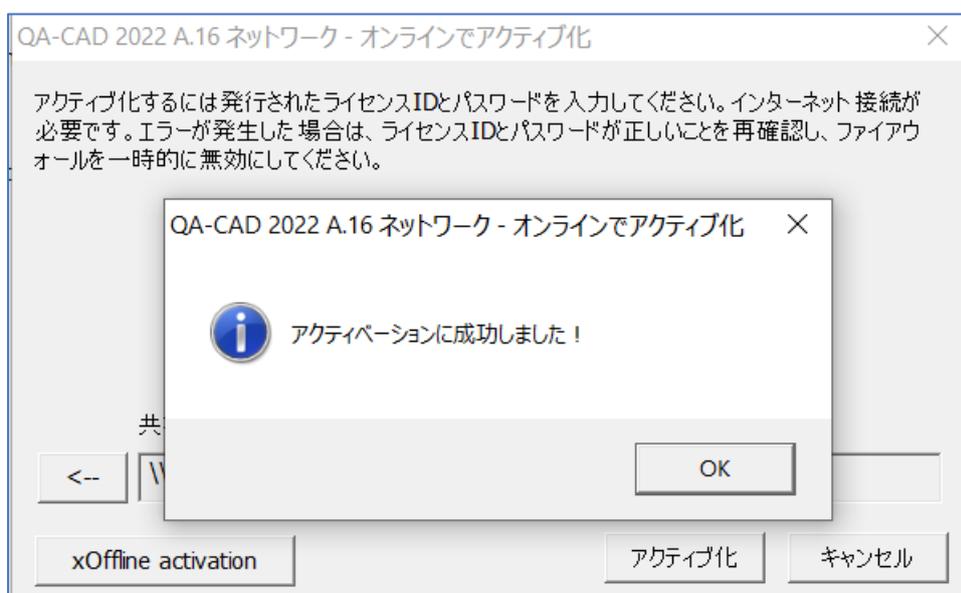
(4) ライセンス ID とパスワードの入力

続いてソフトウェアはライセンス ID とパスワードの入力を要求します。



購入時に、弊社から提供された「ライセンス ID」と「パスワード」を入力します。この時にコンピュータがインターネットにアクセスできる必要があります。

「ライセンス ID」と「パスワード」の入力は一回だけ可能です。二回目以降の入力は受け付けず、エラーとなります。弊社まで必ず連絡をお願いします。ライセンスサーバー側の設定を変更する必要があります。



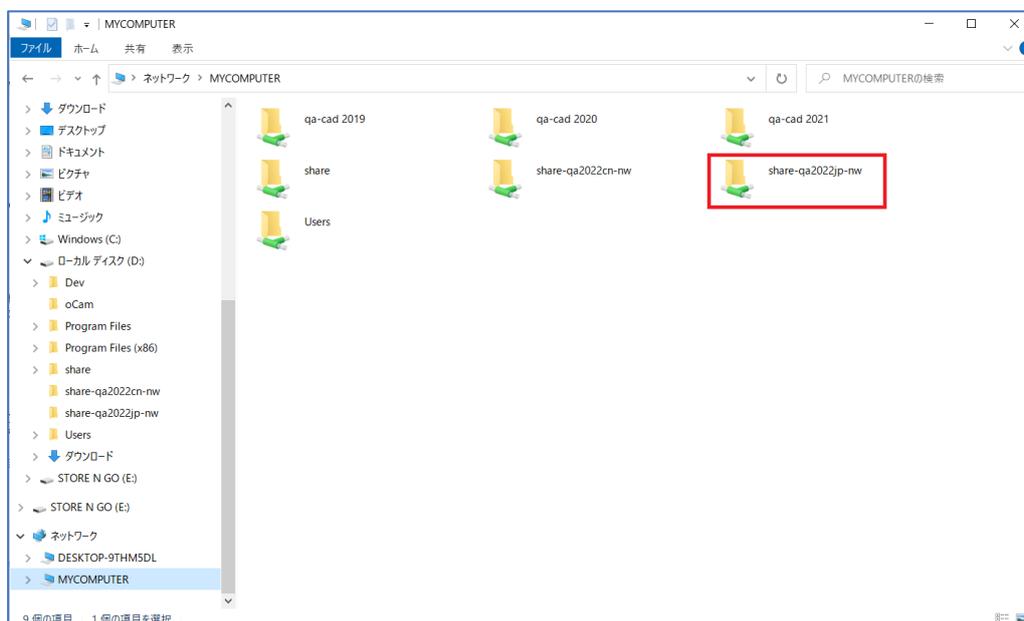
アクティブ化が完了すると、アクティベーションに成功しましたというメッセージが表示されます。[OK]ボタンを押すと、QA-CAD をご利用になれます。

アクティベーションが成功すると、ライセンスファイル(qa2022jp.lfx)が生成され、ライセンス共有フォルダーに保存されます(アクティブ化完了後に、共有ライセンスフォルダーの変更、移動等を行うと、エラーの原因となります。変更移動は行わないようお願いいたします)。

(5) 2台目以降のコンピュータでのソフトウェアのセットアップ

まず2台目の以降のコンピュータで、Windows OS に標準でインストールされているファイルエクスプローラーというソフトウェアを起動します。そしてファイルエクスプローラー上のネットワークのセクションで、手順(1)で設定、作成した共有ライセンスフォルダーが表示されているか確認します。

(ネットワーク --> 一台目にインストールしたコンピュータ --> 共有ライセンスフォルダー)

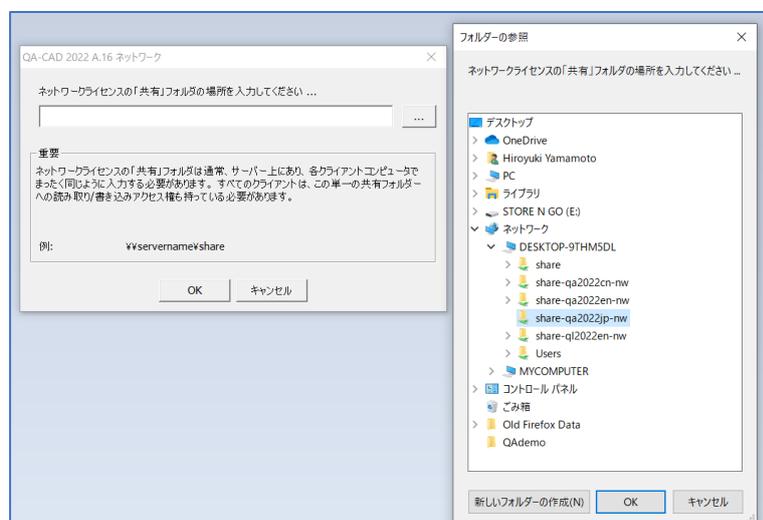


表示されるまで時間のかかることがあります。

共有ライセンスフォルダーが表示されていない場合、現在使用しているコンピュータがネットワーク上の共有ライセンスフォルダーに何らかの理由でアクセスできていないということです。御社の IT 担当者の方と、ネットワーク及びファイル共有機能の設定確認をお願いいたします

共有ライセンスフォルダーが表示されている場合のみ、以下に進みます。

QA-CAD ソフトウェアを使用する 2 台目以降のコンピュータに、QA-CAD ソフトウェアをインストールします。インストールされている QA-CAD ソフトウェアを起動するには、デスクトップアイコンをクリックするか、Windows の[スタート]メニューでソフトウェアを見つけます。



すると、1 台目のコンピュータと同じように、ライセンス共有フォルダーの場所(共有ライセンスフォルダーパス)を入力するよう求められます。1 台目のコンピュータに入力した共有ライセンスフォルダーパスを確認したい場合、1 台目のコンピュータにインストールした QA-CAD を起動してヘルプメニューから[QA-CAD について]を選択すると、パスが表示されます。

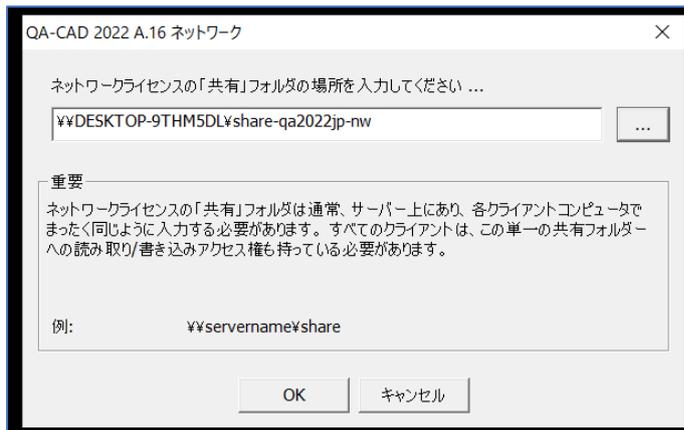
ライセンス共有フォルダーの場所は、全てのコンピュータでまったく同じように入力する必要があります。たとえば、以下の 2 つのパス名

[¥¥servername¥share](#)

[¥¥servername.domain.com¥share](#)

同じ共有フォルダーを指す場合がありますが、それぞれが異なる識別子値を生成します。¥¥servername ¥share のように、すべてのコンピュータで同じ正確なパスを使用する必要があります。

1 台目のコンピュータと同じように、ネットワークライセンスの「共有」フォルダの場所を入力してください…の下にある入力欄にライセンス共有フォルダーパスを直接入力するか、または入力欄の右側にある[...]ボタンを押すと、[フォルダーの参照]というウィンドウが表示され、ネットワーク上にあるライセンス共有フォルダーを直接選択することができるようになります。上記の画像例では、ネットワーク上にある DESKTOP-9THM5DL というコンピュータ内のライセンス共有フォルダー share-qa2022jp-nw を選択しています。選択すると、下記の画像のように、ライセンス共有フォルダーパスが表示されます。[OK]ボタンを押します。



選択したライセンス共有フォルダーパスに問題がなければ、2台目のコンピュータでソフトウェアをご利用になれます。

注意事項:「ライセンス ID」と「パスワード」の入力は、一台目にインストールしたコンピュータだけに必要となります。二台目以降のインストールしたコンピュータでは手順(3)で登録した共有ライセンスフォルダーのパスを選択するだけです。

二台目以降のインストールしたコンピュータで、「ライセンス ID」と「パスワード」の入力を再び要求された場合、現在使用しているコンピュータが共有ライセンスフォルダーに何らかの理由でアクセスできていないということになります。御社の IT 担当者の方と、ネットワーク及びファイル共有機能、共有フォルダー作成の設定確認をお願いいたします。

また現在の同時利用ユーザ数は、ヘルプメニューから[QA-CAD について]を選択すると、現在利用しているユーザ数が表示されます。購入されたユーザ数以上のアクセスがあると、警告メッセージが表示されると共に QA-CAD の起動がブロックされます。

一般的なアクティベーションの問題

手順4の[オンラインでアクティブ化]ダイアログは、1回だけ行います。アクティベーションが成功すると、生成されたライセンスファイルが共有フォルダーに保存されます。以降のインストールで[オンラインでアクティブ化]ダイアログが表示される場合は、ソフトウェアが保存されているライセンスファイルを見つけられなかったことを示しています。最も可能性の高い原因は、別の共有パスが入力されたことです。戻って、正しい共有パスを再入力します。すべての QA-CAD ソフトウェアを使うコンピュータに、一回目に入力した共有ライセンスフォルダーパスとまったく同じパスを入力してください。